



みんな考えよう—岩手の海岸・緑の再生シンポジウム

海岸防災林の再生を考える

震災により岩手県の海岸林も大きな被害を受けました。海岸林を含む周囲の森林などの自然環境の回復は、地域復興の源流だと考えます。そこで沿岸地域の住民の皆さんに、海岸林などに目を向けてもらい、再生復興に当たり、地元で何ができるかを考え、そして日本全国のNPO・企業団体などに、その情報や要望を発信していく契機となることを期待するものです。

9:00▶11:30 エクスカーション／現地視察

根浜海岸、鶴住居、吉里吉里などをマイクロバスで視察(先着20名)

11:30▶開場・受付 [パネル展示]

13:00▶13:10 開会

挨拶 公益社団法人国土緑化推進機構 専務理事 **梶谷 辰哉**

13:10▶13:40

イベント 臼澤鹿子踊「大槌の伝承」臼澤鹿子踊保存会

13:40▶14:40

基調講演 「東北の海岸林再生と豊かに生きるための生物多様性復元」

横浜国立大学 学長 **鈴木 邦雄** 氏

14:40▶14:50 休憩

14:50▶15:15

基調報告 「海岸林の様々なはたらき」

独立行政法人 森林総合研究所 東北支所 **坂本 知己** 氏

15:15▶15:30

宮城県事例報告 「地域の人たちと手をたずさえ『名取市民の森』の再生を目指して」

公益財団法人オイスカ
海岸林再生プロジェクト 担当 **吉田 俊通** 氏

15:30▶16:30

パネル・ディスカッション

「豊かな環境を次世代のために…」

パネリスト

臼澤鹿子踊保存会 会長 **東梅 英夫** 氏
宝来館 女将 **岩崎 昭子** 氏
新おおつち漁業協同組合 漁協組合長 **阿部 力** 氏
釜石地方森林組合 釜援隊 **手塚 さや香** 氏
特定非営利活動法人吉里吉里国 理事長 **芳賀 正彦** 氏

16:30▶閉会

講師プロフィール



横浜国立大学学長、自然復元学会会長

鈴木 邦雄 氏
[すずき くにお]

1948年 宮城県生まれ。1973年 東北大学理学部卒。2001年 横浜国立大学大学院環境情報研究院院長。2009年 横浜国立大学学長、自然環境復元学会会長、日本マングローブ学会会長、日本ユネスコ国内委員会委員、神奈川県ユネスコ協会会長、ユネスコパーク推進者



独立行政法人 森林総合研究所 東北支所

坂本 知己 氏
[さかもと ともちか]

1957年 大阪府生まれ。1979年 北海道大学農学部卒。1981年 林野庁林業試験場(北海道支場)、2014年 (独)森林総合研究所東北支所地域研究監、日本海岸林学会副会長。2014年度 仙台湾沿岸海岸防災林生物多様性保全対策検討委員会(東北森林管理局)・「海岸防災林ランドデザイン調査」に関する検討委員会(林野庁)



公益財団法人オイスカ 海岸林再生プロジェクト担当

吉田 俊通 氏
[よしだ としみち]

1969年 神奈川県生まれ。1994年 オイスカへ奉職後、国内外の森林再生プロジェクトや学校林保全活動などのコーディネートなどに従事。途中2年半退職し、神奈川県林業会社「サトウ草木」にて勤務。震災直後にプロジェクトを起業し、現在に至る。



臼澤鹿子踊保存会会長

東梅 英夫 氏
[とうばい ひでお]

どろのきプロジェクトは、単純に郷土芸能の主要な装束となる素材の安定的な確保が未来への継承を図ることであったが、郷土芸能団体どうしの繋がりよりも、予想外の多くの人々との連携が広がり大きなネットワークになった。「育てる」という息の長い活動は自発的に、年代を超えた関わりを生み素晴らしいコミュニティの場になっている。人の生涯を超えたスパンで協同で育む意義は大きい。



宝来館女将

岩崎 昭子 氏
[いわさき あきこ]

1956(昭和31)年生まれ、50年前に先代が開業した旅の宿「宝来館」(岩手県釜石市鶴住居町・大槌湾の根浜海岸)を20代半ばで継ぎ、(女将)として現在に至る。東日本大震災では、宝来館も大津波により壊滅的な打撃を受けるが、翌年(2012年1月)に再オープンを果たす。現在は、世界中の人が三陸へ来ていただく地域づくりに夢見で奮闘中。



新おおつち漁業協同組合代表理事組合長

阿部 力 氏
[あべ つとむ]

大槌町は町の基幹産業である水産業が壊滅的な被害を受けたが、組合員一丸となり、良質で美味しい海の幸を消費者の皆様にお届けするため日々頑張っております。しかし、これら大槌湾を取り巻く海岸林や湾に流入する大槌川・小槌川の豊かな緑があってこそ得られるものです。今後とも、資源豊かな三陸の漁場で伝統的な定置網漁や養殖を中心に、町の復興に向け前進していく所存です。



釜石地方森林組合釜援隊

手塚 さや香 氏
[てづか さやか]

2014年10月より釜石リージョナルコーディネーター(通称「釜援隊」)として活動。釜石地方森林組合に派遣され、人材育成事業「釜石大槌パークレイズ林業スクール」の事務局業務や、全国からのボランティアや視察の受け入れを担当。新聞記者の経験を活かし、森林組合のプレスリリース作成や取材対応、サイトの構築を行うほか、県内の事業所、NPOのメディア戦略のお手伝いもしている。



特定非営利活動法人吉里吉里国理事長

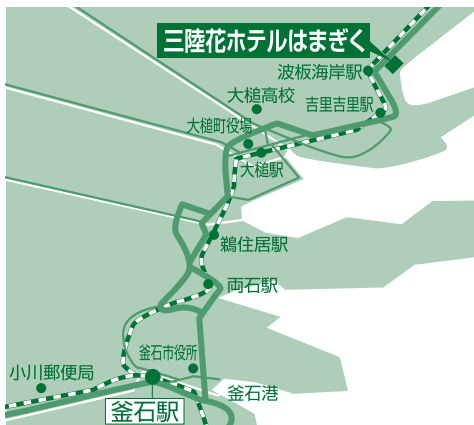
芳賀 正彦 氏
[はが まさひこ]

吉里吉里を愛する住民有志によって活動が始まりました。地域の環境を育む森林資源を有効に活用しながら、津波災害復興に向け、新たな雇用を創出し、経済復興を果たそうとするものです。地域の再生に向け地元住民が主体となって取り組み、吉里吉里の森を海の再生へつなげていきます。私たちの活動が次世代につながり、吉里吉里が三陸沿岸の地域社会に寄与することを目的としています。

お問い合わせ先
公益社団法人 国土緑化推進機構
東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館
TEL:03-3262-8437
FAX:03-3264-3974
E-mail:kaiganrin@green.or.jp

お申し込み先
ポータルサイト
「海岸林再生Navi」
<http://kaiganrin.jp/>から
お申し込みください。
当日参加もできます。

海岸林再生ナビ



釜石駅 12:10 発 → 三陸花ホテルはまぎく
三陸花ホテルはまぎく 16:45 発 → 釜石駅の送迎バスがありますのでご利用下さい。



シンポジウムに会場される方が排出するCO₂は岩手県内の森林吸収でオフセットしています。